

# みさとのいただき

平成 29 年 5 月 編集 米谷 修



## 「桜の花びら 舞い散る」

曇り空、桜の花びらは時折強く吹く風に飛ばされ、ひらひらと宙を舞う。もう仕舞いかとだれもが寂しがらる。これほど惜しまれながら散りゆく花が他にあるだろうか。

デイサービスでは、皆でお花見ができたらとの思いで、今年も企画担当職員が施設外活動の準備を整えたものの、

天候に恵まれず、予定していた四日全てにおいて中止を余儀なくされました。用意していたお菓子や甘酒などは、おやつの時間にお召し上がりいただくことに。とほほ…。

桜よ、もし貴方が男子学生だったならば、さぞクラスメート達から嫉妬心を抱かれたことだろう。私もその中の一人だったかもしれない。

来年があるさと励ましてくれる足元のタンポポよ、君には何となく親近感が沸くよ。でも気づいているかい。花びらを失った後の君は、子供達の人気者なんだぜ！

## 「頼もしい新たな仲間達」

新年度が始まり、もう一月が経ちましたね。みさとも新しい仲間達が増えました。折角の機会ですので、この場をお借りしてご紹介させていただきます。

先ずは新入社員の製氷機君です。前任者が急遽年明けに退職し（要するに壊れてしまったのです）、四月より三階ロビーに配属となりました。

次に第一興商からの派遣社員（今回はレンタル契約に）、カラオケ君です。主にイベント会場で活躍してきた彼には、存分に職場を盛り上げていただきましょう。

最後は指導員として囑託勤務くださるローラーマッサージさんです。長年整骨院で培ってこられた経験をここでも活かしてもらえないかと、この度お力添えいただくことになりました（機能訓練指導員、柔道整復師の大石先生から無償で頂戴しました）。

以上三名（台）が我々仲間に加わりました。頼もしいでしょ。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。近頃メンテナンスの頻度が増してきた、所長の米谷でした。



〈 今月の一歩 〉 桜の花は散っても、また来年がありますが、物は壊れたら最後、捨てられる運命にあるのです。手荒に扱うことなく、大事に使いたいものです。新品、レンタル品、中古品に関わらず、そうすべきですね。加えて、保守点検も怠らず。そろそろ私も定期点検と。

鯉のぼり

一、いらかの波と 雲の波

重なる波の 中空を

橘かおる 朝風に

高く泳ぐや 鯉のぼり



二、開ける広き その口に

舟をも呑まん 様見えて

ゆたかに振う 尾ひれには

物に動ぜぬ 姿あり

三、百瀬ももせの滝を 登りなば

たちまち竜になりぬべき

わが身に似よや 男子おのこと

空におどるや 鯉のぼり

